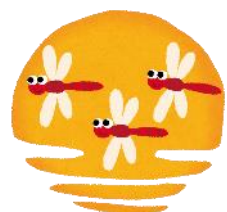




図書館便り No.10

2022年11月8日発行

読書週間は続いています！



11月になり、ずいぶん涼しくなりました。集中しやすいこの季節は、本を読むにもよい季節ですね。秋の夜長にじっくり読書を楽しみましょう。



図書室からのおすすめ

『IBLARD 井上直久』 井上 直久監修、山野邊 友梨編集・制作 青心社



茨木市在住の画家・井上直久さんの伝記&作品集です。井上さんは、春日丘高校教員・大学教授を経て、スタジオジブリの映画「耳をすませば」の背景画などを担当されました。井上さんが描く「イバラード」とよばれる世界は、茨木市がモチーフとなっているそうです。美しく幻想的な作品が、実は私たちのよく知っている街だなんてとても不思議ですね。他にも、映画制作秘話やスタジオジブリの宮崎駿監督との対談なども紹介されています。



オリジナルしおりを作ろう！

図書室では、読書週間のイベントとして、^{しおり}葉作りをしています。台紙に好きなパーツを貼ったり、イラストを描いたりして、自分だけのオリジナル^{しおり}葉を作ってみませんか。



11月

集会で図書委員おすすめの本を紹介します。今月は3年1組、3年2組の担当です。

の図書委員のおすすめ

「「悩み部」の成長と、その緊張。」

麻希 一樹著

学研プラス



この本は、悩み部という悩みを持った人の悩みを解決する部活のお話です。

悩み部は4人いて、いい悩みとは何かについて話し合いをしたり、悩みを解決したりするだけの話ではないので、誰でも楽しく読むことができます。この本は他にもシリーズがあるので、そちらもぜひ読んでみて下さい。

(3年1組)

「3色だけでセンスのいい色」

ingectar - e 著

インプレス



この本は、3色の配色アイデアに特化した配色本です。

ポスター作成などで、「どの色を使えばいいのかわからない」なんてことはありませんか？そんな時、悩みを解決してくれる本です。センスに自信がなくても、まとめやすい3色に限定されているのでとても分かりやすいです。ページをめくるだけでも楽しいので、ぜひ読んでみて下さい。

(3年2組)



ビブリオバトル チャンプ本を紹介しています！



2年生の国語科の授業で行われた「ビブリオバトル」のチャンプ本を紹介しています。

ビブリオバトルとは、お気に入りの本を紹介しあうゲームで、知的書評合戦ともいわれています。まず、お気に入りの本を持ち寄って、一人5分間で本を紹介します。それぞれの発表後、参加者全員でディスカッションをし、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準として、投票を行い、最多票をアツめたものを「チャンプ本」とします。

ビブリオバトルは、本の面白さを知るだけでなく、本を通して人を知るきっかけにもなります。本を通して新たな発見があるといいですね。

参考：『ビブリオバトルハンドブック』ビブリオバトル普及委員会 子どもの未来社

◎チャンプ本を一部ご紹介◎

『博士の愛した数式』『硝子の塔の殺人』『道ひらく、海わたる』『推し、燃ゆ』『かがみの孤城』『人間失格』『戦国武将の解剖図鑑』『マイクラフト』etc